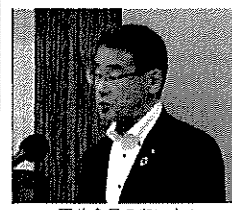


# 山形県 自家用自動車

## 第12回定時総会を開催

## 令和4年度事業報告・収支計算を承認

### 県自家用自動車協会



平井会長のあいさつ



原本文通部長



有路山形運輸支局長



受賞者の皆さん

6月14日、山形県自家用自動車協会平井康博会長の第12回定時総会が、山形グランドホテルにおいて、来賓に有路仙之山形運輸支局長、塚本憲明山形県警察本部交通部長らを迎え、役員・会員25名出席のもと開催されました。

平井会長が「ロシアのウクライナ侵攻に伴う戦争の長期化により、原油をはじめとする様々な資源価格の高騰により、食料品をはじめとする物価の上昇等、先の経済の見通しが予断を許さない状況の中、昨年は新車販売台数も半導体不足による生産の遅れから5年連続の減少となった。当協会の事業実績についても、自動車保管場所調査委託料以外、殆どの事業収入が前年度より減収となり厳しい状況となっている。今年度も主たる事業である「登録申請代行」、「自動車保管場所現地調査」、「自動車共済・自賠責共済等」の活動をより強化、本年度以降想定される自動車関連税制強化にも関係団体と連携し、自動車ユーザーを守る活動を推進していくとの挨拶後、来賓の宥路山形運輸支局長、丸山彰久山形県警察本部長(塚本交通部長代述)から祝辞をいただきました。

総会は、令和4年度事業報告並びに収支計算承認について審議され、原案どおり承認可決されました。

そのほか総会では、令和5年度事業計画の報告がなされ、協会は次の3点を活動の重点として自家用自動車に係る交通安全の普及、事故防止の啓発活動に取り組みことを報告しました。

①迅速・適正な自動車保有



受賞状況

定価1部・20円  
会員の購読には会費に含まれております  
発行所  
山形市大字赤松山字行段1422  
一般社団法人  
山形県自家用自動車協会  
電話023 (686) 3951  
https://www.y-jikayo.or.jp  
印刷/朝野社印刷所

### 令和4年度収支計算書

令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

科目	決算額
事業活動収入	
1. 会費収入	22,917,050
2. 事業収入	169,225,309
3. 雑収入	20,710,193
事業活動収入計	212,852,552
事業活動支出	
1. 事業費支出	201,520,155
2. 管理費支出	6,232,698
3. その他事業活動支出	0
事業活動支出計	207,752,853
事業活動収支差額	5,099,699
投資活動収入	
1. 特定預金取崩収入	0
投資活動支出	
1. 特定預金積立支出	0
2. 固定資産取得支出	1,357,620
投資活動支出計	1,357,620
投資活動収支差額	△1,357,620
財務活動収入	
1. 借入金収入	674,520
財務活動支出	
1. 借入金支出	540,136
財務活動収支差額	134,384
当期収支差額	3,876,463
前期繰越収支差額	37,430,771
次期繰越収支差額	41,503,123

②行政府書士法人山形自動車登録事務所と連携した自動車保有関係手続き及び自動車検査証の電子化に対する適切な対応

③自動車共済・自賠責共済契約拡大の強化

総会に先立ち、優良整備管理者選任事業所並びに優良整備管理者の表彰を行いました。この表彰は、山形運輸支局の協力のもと、道路運送車両法に基づき整備管理者を選任している事業所を対象に、昨年度巡回指導を行った結果、車両の整備管理や交通事故防止への取組が特に優れていた6事業所と優良整備管理者1名を顕彰したもので、宥路山形運輸支局長と平井会長から表彰状と記念品が贈呈されました。受賞された事業所と整備管理者は次のとおりです。(敬称略)

◆優良整備管理者選任事業所  
アシストアーバン工業(株)(高島町)、長井市社(岡幼稚園)

◆優良整備管理者  
片山康生(アシストアーバン工業株)、堀越邦彦(長井市社会福祉協議会)

会福祉協議会障がい福祉サービス事業所せせらぎの家、阿部貴志(大井建設株)サービスセンター、鋼持新二(鶴岡幼稚園)

- 業務執行体制 平井会長以下57名
- 山形県自家用自動車協会第12回定時総会後の業務執行体制は次のとおりです。
- 会長 平井 康博
  - 副会長 後藤 完司
  - 副会長 中村 聡
  - 専務理事 上屋 敦夫
  - 理事 鈴木 吉徳
  - 理事 小関 眞一
  - 理事 齋藤 哲
  - 理事 齋藤 榮助
  - 理事 齋藤 信一
  - 理事 阿部 博
  - 監事 武田 和哲
  - 監事 徳田 茂子
  - 事務局長 宇野 謙二
  - 山形支部長 高橋 文裕
  - 山形支部長 平 弘幸
  - 西置巻支部長 海老名 修
  - 最上支部長 黒坂 健彦
  - 酒田支部長 今井 司
  - 田川支部長 五十嵐 正

山形県の5月における新車新規登録・届出台数は、総合計3,713台で前年同月比17.5%増と9ヶ月連続して増加となりました。

○登録自動車は合計で15.8%の増となり、乗用車全体では16.1%の増と5ヶ月連続の増加となつていきます。うち普通車が51.8%の増加に対し、小型車は12.1%の減少となつて、まず貨物車全体では14.2%の増と5ヶ月連続の増加その他のバス、特種等も11.1%の増と6ヶ月連続の増加となつていきます。

○軽自動車は19.6%の増となり、乗用車は14.9%の増と前年同月比17.5%増と9ヶ月連続して増加となりました。

別表 5月新車新規登録・届出台数

	5年5月	前年同月	増減	率	
登録自動車	乗用 普通	973	641	332	51.8
	乗用 小型	711	809	▲98	▲12.1
	乗用 計	1,684	1,450	234	16.1
	貨物	250	219	31	14.2
	その他	50	45	5	11.1
計	1,984	1,714	270	15.8	
軽自動車	1,675	1,400	275	19.6	
小型二輪車	54	47	7	14.9	
総合計	3,713	3,161	552	17.5	

注1) 乗用車・普通は3ナンバー、乗用・小型は5ナンバー、貨物車は1又は4ナンバー、その他はバス、特種用途車等である。  
注2) 軽自動車については、軽自動車検査協会調べの速報値

5月の県内新車新規登録・届出台数は、総合計3,713台で前年同月比17.5%増と9ヶ月連続して増加となりました。

○軽自動車は19.6%の増となり、乗用車は14.9%の増と前年同月比17.5%増と9ヶ月連続して増加となりました。

電動キックボード、7月から新たなルール  
最高速度20キロ以下、運転免許不要

警察庁は電動キックボードを新たな移動手段として位置づける改正道路交法を7月1日から適用する。性能上の最高時速が20キロ以下の電動キックボードについて「特定小型原動機付自転車」という新たな区分を設け、車体は長さ1.9m以下、幅0.6m以下とし、保安基準に適合するブレーキ

警察庁・国土交通省 装置やウインカー等を備える必要がある。一方、運転免許は不要であるが16歳未満の運転は禁止、ヘルメットの着用は努力義務となる。

通行場所については、「特定小型原動機付自転車」であれば自転車道や自転車専用通行帯は通行できるが、歩道や路側帯は通行不可となる。

今後の周知が課題で、警察などは広報や指導を通じて徹底を図るとしている。

5月の県内新車新規登録・届出台数は、総合計3,713台で前年同月比17.5%増(9ヶ月連続増加)

東北運輸局 と共に2ヶ月ぶりの増加となりました。

別表「子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅」推進事項

区分	推進事項
運転者 職	1 車に乗ったら「全席でシートベルト着用」を徹底しよう。 2 「前後左右、目配り運転」で安全運転、一時停止はしっかり止まってはつきり確認しよう。 3 信号の無い横断歩道を渡ろうとする歩行者がいるときは、必ず一時停止しよう。 4 飲酒運転は「しない、させない、許さない」を徹底しよう。 5 疲れや眠気を感じたら、無理せず休憩しよう。
自転車 歩行者	1 定期的に点検・整備を実施している安全な自転車を利用しよう。 2 自転車損害賠償責任保険等に加入して自転車の事故に備えよう。また、保険等の有効期限を確認し、忘れずに更新しよう。 3 自転車は、暗くなったら必ずライトを点灯しよう。 4 自転車も交通ルールを守り、ヘルメットを着用しよう。 5 歩行者は夕方からの外出時、夜光反射材や明るい色の服を身につけよう。 6 信号機のない横断歩道では、手をあげて車を止める意思表示をし、停止した運転者には、お辞儀などで謝意を伝えよう。(「交通安全ありがとう運動」推進中)
家庭 学校等 地域等	1 「交通安全は家庭から」毎日、家庭で事故防止の声掛けをしよう。 2 運転者は地域の狭い道路では、速度を落とし、子どもと高齢者を守ろう。 3 歩行者は、交通ルールを守り、車道へのとび出しは絶対にしない。 4 夜間に外出する家族には、夜光反射材を着用させよう。

7月21日から8月20日まで、**「明るいやまがた」夏の安全県民運動**

令和5年度「明るいやまがた」夏の安全県民運動が7月21日(金)から8月20日(日)までの1ヶ月間実施されます。

本運動は、夏は長期休暇や暑さによる気のゆるみや疲労、海や川でのレジャーの機会が増えることなどから交通事故や水の事故等が多くなり、また、青少年の非行や身近な犯罪等も多くなる傾向にあることから、これらの事故を防止するとともに、青少年の健全な育成を図るため県民総ぐるみの運動を推進し、安全で明るいやまがたを創ることを目的に実施されるものです。

運動の重点は、「青少年の健全育成」といじめ非行及び犯罪被害防止」、「子どもと高齢者の交通事故防止・飲酒運転の撲滅」、「海・山・川での事故防止」、「身近な犯罪等の防止」の4点となっています。

運動期間中、シートベルト及びチャイルドシート、ヘルメット着用指導の強化や帰省車(者)に対する「安全ドライブの呼びかけ」などが行われます。

主要推進事項のうち、

国土交通省  
なお、県は、本運動を広く県民に広報するとともに、県民総ぐるみの運動となるよう機運の醸成を目的として、7月21日(金)午前10時から山形県庁講堂において出発式を行います。



1横断者は、横断の意思を伝えよう 2運転者は、必ず止まって横断者をうながそう 3横断者は、感謝の気持ち伝えよう 4「交通安全ありがとう運動」推進中!

国土交通省は、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しています。この一環として、令和5年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く、一般から募集した結果、全国から2,950作品の応募が寄せられました。

今年6月、推進標語審査懇談会を開催し、応募作品の中から、小学生の部、中学生の部、一般の部の部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を選出されました。

国土交通省は、毎年8月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しています。この一環として、令和5年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く、一般から募集した結果、全国から2,950作品の応募が寄せられました。

今年6月、推進標語審査懇談会を開催し、応募作品の中から、小学生の部、中学生の部、一般の部の部門毎に、最優秀賞1作品と優秀賞2作品を選出されました。

大賞はトヨタ「ヴォクシー／ノア」!!

2022年度 自動車の安全性性能の評価

国土交通省とナスバ(独立行政法人自動車事故対策機構)は、ユーザーが安全性の高い自動車を選択しやすい環境を整備するとともに、メーカーに対してより安全な製品の開発を促すため、毎年、販売台数の多い車両を中心に、自動車の安全性性能に関する様々な評価試験を行い、結果を公表する「自動車アセスメント」を実施しています。

2022年度に評価を行った自動車13車種(乗用車7、軽自動車6)の中で、ファイブスター賞(衝突安全性)と予防安全性性能において最高ランクであり、事故自動緊急通報装置を搭載した車種を獲得したのは7車種で、このうち最高得点を獲得したトヨタ「ヴォクシー／ノア」が「ファイブスター大賞」を受賞しました。

ヴォクシー／ノア以外は、スパルソルテラ/トヨタbZ4X、トヨタ・シエンタ、日産サクラ、ホンダ・ステップワゴン、三菱、

「参加・体験型 高齢者等交通安全教室(講座)」受付中

山形県は、高齢者等の交通事故防止のため、参加体験型の交通安全教室(講座)を実施しています。教室では、交通安全危険予測シミュレーターシステムを活用し、3Dのリアルな交通環境で、歩行者と自動車運転中の危険を疑似体験するものです。

メニューは「歩行者向け」・「運転者向け」の2種類、日時は4月から1月までの10時から15時(年末年始を除く)で、参加人数は10人から50人程度費用は無料、所要時間は概ね40分から60分程度です。

お問合せ・申込先  
山形県交通安全対策協議会(山形県消費生活地域安全課内)  
Tel 023-63302196

予防安全性性能評価

衝突被害軽減ブレーキ

対歩行者

対車側

ペダル踏み間違い時加速抑制装置

車線逸脱抑制装置

衝突安全性性能評価

フルラップ前面衝突試験

側面衝突試験

後面側頭部保護性能試験

歩行者頭部保護性能試験

突、後面衝突頸部保護性能、歩行者頭部保護性能などについての試験、予防安全性性能面では、衝突被害軽減ブレーキ(対車両及び対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱抑制装置などについての試験をそれぞれ実施し、試験結果による点数に、事故自動緊急通報装置の有無による点数を加えて総合的に判定しています。